

平成27年度
事業報告書

公益財団法人 防府市文化振興財団

平成27年度 公益財団法人防府市文化振興財団事業報告書

I 事業総括

防府市文化振興財団は、真に豊かさの実感できる地域社会の形成と進展に寄与することを目的として、「豊かな心の育みと文化の薫りにあふれるまちづくり」を推進する防府市における文化活動の一層の活性化を図り、市民のニーズに応える多様な事業を展開しています。

平成27年度は、防府市公会堂、防府市地域交流センター、防府市青少年科学館、防府市視聴覚ライブラリーの4施設における、平成23年度から平成27年度までの指定管理期間の最終年度に当たり、これまでの実績を検証しながら、安心安全を基本に、より利用しやすい施設運営に努めるとともに、それぞれの施設を拠点とした魅力あふれる多彩な事業を企画運営することにより、多くの来場者をお迎えし、防府市の文化振興を図りました。

また、平成28年度からの5年間について事業計画を策定し、これまでの4施設に加え、新たに防府市立防府図書館の指定管理者として、防府市から指定を受けました。

II 事業概要

公益財団法人として定款の目的にかなった事業を展開するとともに、「防府まちづくりプラン2020」に沿った文化・芸術活動の推進や文化施設のあり方を検討し、4施設がそれぞれの特徴を活かしながら連携して適正な管理運営に取り組みました。

また、収益事業についても、公益目的事業の一層の充実を図るための財源確保や、利用者のサービス向上につながるよう、収入の確保に努めました。

1 文化の創造・発信及び文化活動の支援事業

(1) 鑑賞事業（資料1頁～3頁参照）

① 音楽鑑賞事業

本年度は、自主事業9事業9公演（1公演は雪のため延期）、受託事業3事業14公演、合計12事業23公演のクラシックからポップス、伝統芸能、それ以外のジャンルに至るまで多岐にわたる事業を展開し、合計で約1万3千人の方にご参加いただきました。

ア 自主事業

平原綾香、財津和夫、東京スカパラダイスオーケストラ、日本ウインドアンサンブル、ブリヂストン吹奏楽団久留米の各コンサートを開催しました。

また音楽以外のジャンルでは、茂木健一郎講演会、特撰東西落語名人会 三遊亭円楽・三遊亭小遊三 二人会も開催しました。

また、今年で3回目となる全国大会出場記念コンサートを市と共催で開催し、全国大会に出場した小学校から中学校までの吹奏楽3団体がその腕前を市民に披露しました。

イ 受託事業

世界的なトランペット奏者アンドレ・アンリを迎え、その卓越した表現力を堪能するだけでなく、子どもたちを対象にした公開レッスンも開催し、演奏者としての心構えについても指導してもらうことが出来ました。

また、伝統芸能として、地元出身の落語家 鈴々舎馬るこを迎え、地元の多くの応援団の支援もあり、落語の醍醐味を存分に堪能しました。

ウ 防府音楽祭（受託事業）

第15回目を迎えた防府音楽祭は、街の活性化を図るとともに、クラシック音楽をより多くの市民に親しんでもらうため、例年市民から大変な好評を得ている「オープニング街角コンサート」を、うめてらす、天神ピア、防府カトリック教会、鞠生幼稚園など市内の公共・商業施設合計9箇所で行い、また、アスπιラート市民スペースでは「プロムナードコンサート」を開催し、小さな子どもたちから年配の方まで約300人の市民に、無料で気軽にクラシックの生演奏を楽しんでもらうことができました。

さらに、小学校から高等学校までの約70人の児童・生徒から社会人までが集った「管打楽器公開クリニック」では、普段受けることが出来ないような一流の講師の直接指導を体験してもらうことができました。

「わくわく夢の響演コンサート」は、ハンドフルート奏者を迎え、世界初のハンドフルートとオーケストラの協奏曲を披露し、防府少年少女合唱団によるサウンドオブミュージックは、迫真の演技と天使の歌声で、会場を盛り上げました。

「ファイナルコンサート」では、合唱曲イーハトーボ農学校の春オーケストラバージョンを初演し、市公会堂では史上初となった、ヴェートーヴェン交響曲第9番全楽章演奏という快挙に、満席の会場から割れんばかりの拍手喝采を受け、市民参加型として定着している音楽祭の4日間すべてのプログラムに幕を下ろしました。

この防府音楽祭は、これまでに引き続き(独)日本芸術文化振興会からの高い評価を受けて、その助成を受けて開催しました。

② 美術鑑賞事業

企画展3回と、例年事業の美術鑑賞バス2回を開催しました。

親子参加型展事業として、「とびだす！しかけ絵本ランド：7月18日（土）

～8月9日（日）」を開催しました。飛び出す絵本を見るだけでなく、触って楽しむことができるとあって、多くの家族連れで賑わい、約1万5千人もの来場者がありました。

y a b山口朝日放送との共同企画展「ふるさとの匠たち 第8回腕前探訪～技あり！やまぐち～：9月18日（金）～23日（水・祝）」は、地元の職人の技を紹介するイベントとして定着しており、6日間で1万人を超える過去最多の来場者で賑わいました。

「アスピラートでクリスマス2015 冬灯り展」では、地元商工会議所や、近隣の商業施設と連携し、灯りの下でコンサートには300人以上もの来場者がありました。

防府市在住の木版画家、檜垣良之のプロジェクト「防府歴史名所百景」を紹介した「檜垣良之 木版画に見る 防府歴史名所百景之内」：10月16日（金）～11月3日（火・祝）」を開催しました。制作開始から15年の節目として、これまでに完成した作品67点を初めて一同に会した展覧会とあって、来場者からは、「地元に住んでいながら初めて知った」、「地域の人しか知らないような場所を取り上げてもらえて嬉しい」などの声が多数寄せられ大変に好評で、約2千7百人の来場者がありました。

また、毎年恒例の美術鑑賞バスは、7月11日（土）に大分市美術館、大分県立美術館を、11月19日（木）には奥田元宋・小由女美術館、ひろしま美術館を、それぞれバス2台で訪れ、参加希望者多数のため抽選を行うほどの大変な盛況ぶりとなりました。

（2）育成事業（資料3頁～4頁参照）

① 音楽育成事業

子ども合唱教室、弦楽合奏教室、吹奏楽教室、合唱教室、チェンバロ講座を継続事業として年間を通して開催し、幅広い層の市民に歌うこと、楽器を演奏することの醍醐味を堪能していただきました。

② 美術育成事業

現役の小学校の図工担当教諭等が企画並びに指導を行う造形ワークショップ「ゆめあーとひろば」を昨年に引き続き年間6講座開催し、例年同様全講座とも満員の盛況ぶりとなりました。この事業は、（独）国立青少年教育振興機構にその質の高さが認められ、その助成を受けて開催しました。

また、例年事業のワークショップ「アスピラートで夏休み」は、小中学生を対象に、書道、版画、造形活動、工芸の各体験教室を計5日間、防府市書道連盟等の協力を得て開催し、夏休み中の子どもたちで大変賑わいました。

(3) 普及事業（資料5頁参照）

① 音楽普及事業

防府市出身のチェリスト田中雅弘氏を毎年講師に迎えての音楽セミナー／田中雅弘の音楽旅日記は「弦楽器奏者必聴！ためになる楽器の話」を、また、毎年色々な楽器について学んでいるセミナーでは、「ファゴットは語る～癒しの音の秘密&リード3分クッキング」を開催し大変な好評を得ました。

(4) 発表・支援事業（資料5頁参照）

① 音楽発表・支援事業

市民参加型の発表会「フェスタ・アスピラート音楽部門」は、出演者39団体453人、例年同様に来場者は2,000人を超え、県内でも大変珍しい市民参加型イベントとして定着しています。

また、当財団の各育成教室を母体とする防府吹奏楽団と防府少年少女合唱団は、各定期演奏会を開催し、防府弦楽合奏団は、防府市民音楽祭で練習成果を発表しました。

さらに、地元出身の作曲家大村能章を記念して開催される「能章まつり」、種田山頭火の生誕を祝い全国から愛好家が集う「山頭火生誕祭」の開催を支援しました。

② 美術部門

「フェスタ・アスピラート美術部門 なんでも写真コンテストテーマ〈笑い〉」は市民から102点もの作品の応募があり、全作品をアスピラート市民スペースに展示するとともに、来場者による投票と写真家、協賛者による審査を行い、アスピラート大賞など各賞を決め表彰しました。

(5) 文化施設の管理運営

施設の設置目的に沿ってそれぞれの特徴を活かしながら、市民が利用しやすい施設となるよう努めるとともに、各施設の利用促進を図りました。

① 防府市公会堂

市民の福祉を増進し、生活文化の向上に資するとともに広く集会の場として使用に供するために設置された公会堂は、その目的にかなうよう管理運営に努めました。

ア 施設整備

ステージ上部の排煙窓の金具の折れ曲がりや滑車の脱落から、一部の排煙窓が正常に閉まらないという故障が発見されましたので、これを機に専門業者による一斉点検を実施し、不調箇所の洗い出しと修繕を行いました。

その他の施設・設備については、定期的な保守管理の結果、良好な状態を保っております。なお、軽微なものについては、非常灯のバッテリー交換を行っております。

施設全般に発生している経年劣化による不具合については、保守点検業者から

の情報収集や職員の日常点検により、予防措置にも気を配り、計画的な維持管理を進めるとともに、防府市と設備更新や大規模修繕に関する情報を共有するよう心掛けています。

緊急時の対策については、マニュアルに基づいた災害時のお客様の誘導方法や、消防機器の取り扱いについて訓練を行い、危機管理対策の充実に取り組みました。

イ 利用状況（資料 7 頁参照）

前年度に比べ、利用率、利用人数ともに増加しました。増加の要因として、当年度は、吹奏楽コンクールや、これに関連した事前練習などでホールや楽屋等の利用が挙げられます。また、ホール以外の施設についても、音楽のアンサンブル練習やサークル活動などでの利用が伸びてきております。今後も施設全体の幅広い活用につなげるよう一層努力してまいります。

本年度の利用率は 39%、利用人数は 69,330 人でした。

② 防府市地域交流センター

人の交流と賑わいの創出、本市芸術文化の興隆に資するために設置された地域交流センター アスピラートは、その目的にかなうよう管理運営に努めました。

ア 施設整備

お客様の利便性の向上や安全な施設運営を目指し、各設備機器、備品の修繕、整備に取り組みました。

本年度は、音楽ホールの舞台照明のうち、シーリングライトが防府市によってリニューアルされました。これにより、出演者の方をより一層明るく立体的に見せることができるようになりました。

施設各所に生じている経年劣化や大型機器の不具合等の発生については、日常点検と定期的な業者による点検を行い、必要な修繕や改修を行うなど迅速で的確な対応を実施しました。また池周辺の照明を増設して、お客様の安全確保をはかりました。

クリスマスシーズンにはイルミネーションとツリーを設置しました。年末年始には市民スペースの照明を点灯し、年明け早々の防府音楽祭を盛り上げるために年始のツリーを設置するなど、駅前の賑わいを演出しました。

イ 利用状況（資料 8 頁参照）

利用率については、前年度（80%）を下回り 74%の稼働率にとどまりました。利用人数についても、前年を 31,000 人下回り 102,426 人となりました。

内訳は、音楽ホールの利用率 66%、リハーサル室 81%、展示ホール 69%、控室 66%、練習室 85%となっています。

7 月には、昨年度に引き続きバックステージツアーを開催し、6 組 16 人の

方々に参加していただきました。通常、立ち入ることのできない機械室の見学や音楽ホールの照明設備や音響設備の操作を体験していただき、参加者にはたいへん好評でした。

施設の裏側を見学していただくことで、アスピラートに興味を持っていただく良い機会となり、今後も続けていきたいと思っております。

新規利用者や市内外からの利用者が増加するよう窓口・電話対応や各種案内業務など、ソフト面でのサービス向上にも努め、幅広いジャンルでご利用いただけるように今後も努力してまいります。

2 科学及び科学技術に関する知識の普及・啓発を図る科学館運営事業

第2期指定管理期間の最終年度となった平成27年度も、「サイエンスを、やさしく、ふかく、たのしく」をモットーに、ともに学び、考える機会を創出し、楽しむことのできる施設運営に取り組みました。

科学館での体験をきっかけに、科学の楽しさや奥深さを追求できるよう多彩な事業を実施し、市民の皆様が気軽に参加できる機会を提供しました。

(1) 教育普及事業（資料9頁～11頁参照）

① 日常事業

当館は、太陽の恵みと生命を考える「自然と人間の調和」をメインテーマに、様々な体験を通して、多くの人々が科学や技術に対する興味、関心を深めながら、創造力と科学する心を養う場となるよう事業展開しています。

本年度も、太陽望遠鏡による太陽活動の観察（ガイドツアー）、たのしい工作、サイエンスショーなどを実施し、科学を楽しく学ぶ機会の提供に力を入れました。

ア たのしい工作

土・日・祝日に、主に幼児から小学校低学年を対象にした簡単な工作教室を開催し、3,849人の参加がありました。「空をおよぐこいのぼり」など11種類の工作を実施し、科学的な原理、原則を学習できるよう工夫しました。

また、団体でご利用の皆様には別メニューの工作教室を実施し、33団体、1,041人が参加されました。団体でのご利用は、前年度に比べ50%以上増加しています。

イ サイエンスショー

楽しみながら科学への興味を深めるため、土・日・祝日に1日3回サイエンスショーを実施するとともに、平日は学校団体などの要望にもお応えしました。

本年度は、332回実施し、10,874人の参加がありました。前年度に比べ、若干増加しています。

ウ ソラールの科学教室

防府の自然を観察、学習したり、ものづくりを通して科学の奥深さを追及したりする科学教室を実施しました。科学を掘り下げて学べる少人数の講座で、本年度は自然観察教室「サクラの観察」や電子工作教室「ジワーっと光る電子ホタル」など合計41講座を開催し、893人の受講者がありました。

② 特別事業

子どもから大人まで幅広い人々が、わかりやすい展示方法や解説により、科学への興味・関心を高めることができる事業を展開しました。巡回展等についても当館オリジナルの展示物を製作し展示することで、よりわかりやすく、楽しめる参加型の展示となるよう工夫しました。

ア 「春休み工作教室（後半）」

春休み期間中に、年度をまたいで実施している工作教室です。「ふしぎなひもからくりを作ろう」など3日間に6種類の工作を行い、848人の来館者がありました。

イ 企画展「錯覚美術館 ～あなたの目はきっとだまされる！～」

見た目とは違うように見えてしまう「目の錯覚」の不思議さを、だまし絵や不可能立体で楽しく体験できる企画展で、会期中12,870人の来館者で賑わいました。

錯覚の専門家が作り出した最先端の錯覚作品の展示が好評だったことに加え、企画展に関連した特別講座の開催や、工作、サイエンスショーの実施が、来館者数の増加につながったと考えられます。

5月24日には来館者が1万人を超え、セレモニーを開催して記念品を贈呈しました。

ウ 特別展「未来の科学の夢絵画展」

公益社団法人発明協会が募集する「未来の科学の夢絵画展」を、例年同様に開催し、1,479人の来館者がありました。

会期中、イラストレーターわたなべえつこさんによる「似顔絵教室」も実施し、大変盛り上がりました。

エ 「サイエンスアカデミー2015」

当館開館以来、夏休みに実施してきました「おもしろサイエンス in ソラール」を引継ぎ、平成25年度から「サイエンスアカデミー」として14日間実施しています。3年目の本年度は、講師に小・中学校、高等学校、大学などの先生方をはじめ、企業や博物館の皆様をお迎えし、幅広い分野の42講座を実施しました。また、随時工作も毎日実施しました。

これらの講座は、小・中学生や幼児の科学的な好奇心を刺激し、科学のおもしろ

ろさを知ってもらうことのできる内容で、協賛、協力団体は増加しています。

会期中の来館者数は前年度に比べ4%減少し7,201人でしたが、講座への参加者数は前年度に比べ若干増加しています。

オ 国際光年特別展「光のイリュージョン展」

国際連合において2015年を国際光年とすることが宣言されたことから、「光」をテーマに、最新技術を駆使した光作品や映像作品、ホログラムなど、光が織りなす不思議で美しい作品を展示しました。芸術性が高い展示から、現象が不思議でわかりやすい体験型の展示まで、大人から幼児まで楽しめる内容で、幅広い年齢層の来館者で賑わいました。

展示作品のうち、「Light flower of two faces」は演出時間が約2分の作品でしたが、会場が狭く暗いため、スタッフが常駐して2分ごとの入替え制にするなど、安全面に配慮した運営を心がけました。

会期中の来館者数は21,701人で、8月19日に1万人達成、9月12日に2万人達成のセレモニーを行い、記念品を贈呈しました。

カ 防府市小中学校科学作品展

防府市小・中学校教育研究会理科研修部との共催事業として、市内の小・中学生の夏休みの自由研究・工作から、校内選考で選ばれた優秀作品を毎年展示しています。本年度は、小学校の部316点、中学校の部190点の作品を展示し、会期中の来館者は2,024人でした。

キ 特別展「オートマタの世界展」

オートマタ作家の原田和明氏に借用した作品を、「動きのカラクリ」、「イギリスのカラクリ」、「原田和明のカラクリ」の3つの章に分けて展示しました。まずオートマタの仕組みを展示し、その後実際のアートマタ作品を見学、体験するという構成で、オートマタへの興味・関心の促進を図りました。

オートマタのアイデアを考慮していただく特別コーナーは、来館者の創造性を引き出す取り組みとして実施し、幅広い年齢層の方に楽しんでいただきました。

会期中の来館者数は9,126人と目標に達しなかったものの、当館に初めてご来館になった方も多く、新たな来館者の獲得に貢献しました。

ク 「ソラールのクリスマス2015」

来館者が科学に触れるとともにクリスマスを楽しむ場を提供する毎年恒例の特別企画です。

本年度は、「クリスマスメロディボックスを作ろう」をはじめ12種類の工作のほか、サンタとトナカイのショー（サイエンスショー）、クリスマスコンサート、発明クラブ員やサイエンスFUNクラブの皆様の作品展示などを行いました。会期中は、1,138人の来館者で賑わいました。

ケ パネル展「深海のふしぎ」

全国科学館連携協議会の巡回展示物に、国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）から提供していただいた資料や、当館オリジナルの展示物などを加え、最新の深海探査の研究や深海の生物などを紹介するパネル展を開催しました。

会期中は、ミニ実験ショー「深海の水圧実験」をはじめ、パネル展に関連した内容の工作なども実施し、来館者数は5,639人となりました。

コ 「春休み工作教室（前半）」

春休み期間中に、年度をまたいで実施している工作教室です。「金・銀・銅色のメダルを作ろう」など3日間に6種類の工作を行い、810人の来館者がありました。

（2）情報収集保管事業（資料11頁参照）

当館の太陽望遠鏡による太陽観測映像や収集した資料は、学習支援のための学校団体への貸出しや展示など、効果的な活用に努めました。

（3）啓発調査研究事業

防府の自然や、科学教育、科学技術などに関する調査研究を行うとともに、科学の楽しさを伝えるための教材開発にも取り組みました。

また、企画展に関する研修会などにも職員を派遣し、ネットワークの強化や専門職員としての人材育成に努めました。

（4）学校連携事業及び外部連携事業（資料12頁～16頁参照）

① 学校連携事業

小学校への出前事業などを通して、青少年への科学の普及活動を積極的に行いました。

また、博物館実習をはじめ、インターンシップや職場体験学習による人材育成支援も行いました。本年度は、博物館実習として山口大学の4年生2名、理科学外研修として山口短期大学2年生5名、インターンシップとして宇部工業高等専門学校の4年生1名、ジュニア・インターンシップとして誠英高等学校の2年生1名を受け入れました。その他、小学校から高等学校まで8校、20名の職場体験学習を行いました。

② 外部連携事業

博物館や大学、企業、地域の団体と連携し、楽しみながら科学への興味を深めることができる出前事業などを積極的に実施しました。

また、毎年恒例の発明科学教室や宇宙教室、コズミックカレッジを実施するとともに、山口県ひとづくり財団が実施した「やまぐちしょういん学校」への協力や、防府商工高等学校が実施したテクノアカデミーでのブース展示を行いました。

その他、当館を会場として、全国科学館連携協議会の中四国ブロック会議を開催し、科学館運営や活動状況などについて2日間の研修を行いました。

(5) 科学教育指導員派遣事業

防府市内の公民館や児童館などへの出前講座の依頼に対応するため、必要な知識や技術をもった当館の元専門職員（7名）が科学教育指導員となり、講座を実施しました。本年度は9回実施し、263人の方に科学の不思議さや楽しさを伝えることができました。

(6) 防府市少年少女発明クラブ

青少年の科学技術に対する夢と創造力を育み、創造性豊かな人間形成を図ることを目的に、当館を活動の場として開設された発明クラブの活動も15年目になりました。ボランティアグループ「サイエンスFUNクラブ」の皆様の多大なお力をいただき、充実した活動を行っています。

一般社団法人山口県発明協会主催の「2015やまぐち未来の科学の夢絵画展」では、1点が奨励賞、3点が佳作に選ばれました。また、「2015やまぐち発明くふう展」では、1点が奨励賞に入賞しました。

(7) 科学施設の管理運営

① 防府市青少年科学館

市民の科学及び科学技術に関する知識の普及及び啓発を図るとともに、創造性豊かな青少年を育成することを目的として設置された青少年科学館 ソラールは、その設置目的にかなうよう管理運営に努めました。

ア 施設整備・運営

平成27年度は「国際光年」ということもあり、夏休みに「光」に関する特別展を開催するなど、昨年度に一部リニューアルした「光」に関連する常設展示物への興味や理解を深めるよう工夫しました。

開館から18年が経過し、各所で老朽化が進んでいるため、小規模な修繕等を継続して行っています。各種設備の点検・修理も定期的に行い、ご来館者に館内外で安全に快適に過ごしていただけるよう、施設の維持管理を行いました。

また、夏の企画展開催中の夏休み期間は休館日を無くし、毎日開館することで多くのお客様にご来場いただきました。この取り組みは、平成25年度から継続しています。

さらに、新たな取り組みとして、県内の小中学校に向け年間行事のご案内をするとともに、社会見学の引率教職員を対象とした無料招待券を送付しました。その結果101件318人に招待券を利用いただきました。年間の社会見学の件数は117件で、昨年度より21件増加しました。

イ 利用状況（資料17頁～18頁参照）

平成27年度は69,071人の入館者がありました。

平成28年2月7日には、平成10年4月29日の開館から累計90万人目のご来館者を迎え、セレモニーを行いました。

また、館外普及活動として、市内小学校での出前授業や児童館・公民館の家庭教育学級などへの派遣講座を行い、2,908人の参加をいただきました。入館者及び館外参加者人数は総合計で71,979人になりました。

3 学校教育及び社会教育における視聴覚教育の振興に関する事業

学校教育や社会教育の学習効果を高めるために、視聴覚教材や機材を整備して、市内の学校など諸教育施設に広く活用していただくことを目標に活動をしました。

(1) 視聴覚機材や教材の計画的な充足（資料19頁参照）

平成27年8月21日に運営委員会を開催し、平成26年度の事業報告及び決算について、平成27年度の事業推進状況報告及び予算について、更に平成28年度の事業計画について、ご審議いただきました。

機材は、貸出用の古い機材の故障等に伴い、短焦点液晶プロジェクター、ビデオデッキ、DVDデッキ、小型スクリーンを各1台購入しました。

また、来館者がソラールのロビー等で映像が視聴できるよう55インチ液晶テレビを購入しました。

教材は、ソラール来館者向け科学・天文関係映像「スペースワンダーランド」、「Walk of sky ～春と夏の星空～」、「Walk of sky ～秋と冬の星空～」と、「はなかつぱの交通安全 ケーキを求めて右・左・右」、「孫悟空の火の用心 まだまだ修行中」、「ココロ屋」など、幼稚園・小学校等の安全教育、道徳等でご利用いただけるDVD全6点を購入しました。

また、自主制作教材として、「防府における最後の登り窯」と「野焼きー佐野焼の原点を求めてー」で、末田焼と佐野焼を紹介する映像（DVD）を制作しました。昨年度に制作した「防府のやきものは…いま」と共に、防府の産業として栄えてきた窯業の歴史を、映像記録として後世に伝えていく貴重な資料として、貸出、保管を行います。

(2) 視聴覚機材や教材の貸出管理（資料19頁～20頁参照）

視聴覚機材を貸出は、1,404日、370件でした。各機材とも昨年度と比較すると貸出件数・日数共に減少傾向となりました。今後も利用者に不便をおかけしないよう機材の保守点検に努めるとともに、利用者のニーズを考慮した機材選定を行ってまいります。

また、視聴覚教材の貸出は、604日、85件でした。官公庁での教材利用が年々

減少しており、来年度の目録の刷新を機に広報に努めたいと思います。

(3) 防府市青少年科学館の多目的ホールでのビデオ上映（資料2 1 頁参照）

多目的ホールで、月替わりに、青少年科学館の科学事業の企画目的に沿う教材や、社会見学時期には社会見学に適した教材を上映しました。本年度は、冬のパネル展「深海のふしぎ」に合わせた映像の上映を平日3回に増やしたことなどから、参加者数が昨年度を上回りました。

(4) 市内小学校あて巡回ビデオの配送（資料2 1 頁参照）

防府市小学校教育研究会視聴覚研修部の先生方が、当ライブラリー保有の視聴覚教材の中から、巡回ビデオ用教材24項目を選定されました。

平成27年6月9日から平成28年2月23日にかけて、市内16小学校で順次ビデオ映画会ができるように、その教材の配送をしました。

(5) ビデオ撮影編集講習会の開催（資料2 2 頁参照）

本年度も、手持ちの機材での撮影から、フリーソフトでの編集などについて、初心者を対象とした3回シリーズの講習会を、9月5日、10月31日、11月21日に開催し、延べ24人が参加しました。講師は、防府映像サークル等から派遣していただきました。

(6) ホームページの充実

ホームページ上での教材目録の検索ページの更新、保守を行いました。

また、本年度の自主制作映像「防府における最後の登り窯」と「野焼きー佐野焼の原点を求めてー」を、視聴ページに追加しました。

4 収益事業

チケットの受託販売や、有料駐車場の運営、科学館のショップ運営等により、公益目的事業の財源となる収入の確保を図りました。これらの運営に当たっては、施設利用者への更なるサービス向上につながるよう努めました。

(1) 文化施設の管理運営

企業の展示販売会や会議等、公益目的以外の利用についても施設を貸与し、施設の有効利用とともに、地域振興の拠点となるよう努めました。施設の都合を押し付けることなく、より良い利用方法を提案する等、利用者の立場に立ったサービスが提供できるよう取り組みました。

また、他施設で開催されるイベントのチケットを含めたチケットの受託販売も積極的に行い、お客様の利便性を高めるとともに、収入の確保にも努めました。

(2) 有料駐車場の管理運営（資料2 3 頁参照）

当年度の利用料金収入は、3, 168, 750円となり、予算比114%と目標をクリアしましたが、前年度の95.7%と利用が減少しております。

機器の管理については、専門業者による定期的な点検のほか、日常の目視点検等により、不具合を早期発見するよう努めました。

また、出庫車が精算待ちで並んだ場合は、職員を精算機に配置し、出庫がスムーズに行えるよう配慮する等、安全で利用しやすい運営に努めました。

(3) ミュージアムショップの運営

ミュージアムショップでは、科学館にしかないような科学グッズや実験セットなどの販売を行っています。また、防府市のお土産として入荷している「幸せます」グッズも、引き続き好評です。

本年度は、9月から商品を大幅に入れ替え、大人向けの商品も充実させました。

また、各企画展開催中には、それぞれの企画展の内容に合った、科学により興味を持っていただけるような商品を期間限定で販売しました。

Ⅲ 理事会、評議員会

1 理事会

(1) 第1回理事会

開催年月日 平成27年5月13日（水）
開催場所 防府市公会堂 第5号室
決議事項 ①平成26年度事業報告及び決算について
②平成27年度第1回評議員会（定時評議員会）の招集について

(2) 第2回理事会

開催年月日 平成27年5月28日（木）
開催場所 防府市公会堂 第5号室
決議事項 ①会長、副会長及び常務理事の選定について
②評議員選定委員会委員の選任について

(3) 第3回理事会

開催年月日 平成27年7月27日（月）
開催場所 防府市公会堂 第5号室
決議事項 ①防府市立防府図書館の指定管理者指定申請について
②規程の改正について
③平成27年度第2回評議員会の招集について

(4) 第4回理事会

開催年月日 平成28年2月5日（金）
開催場所 防府市公会堂 第5号室
決議事項 ①平成28年度事業計画書及び収支予算書等について

- ②規程等の制定及び改正について
- ③事務局参事兼防府市立防府図書館長の選任について
- ④平成27年度第3回評議員会の招集について

(5) 第5回理事会

決議があったとみなされた日 平成28年3月8日(火)
開催方法 決議の省略の方法(定款第37条第1項に基づくみなし決議)
決議事項 公益財団法人防府市文化振興財団職員給与規程等の改正について

2 評議員会

(1) 第1回評議員会(定時評議員会)

開催年月日 平成27年5月28日(木)
開催場所 防府市公会堂 第5号室
決議事項 ①平成26年度事業報告及び決算について
②理事の選任について

(2) 第2回評議員会

開催年月日 平成27年8月5日(水)
開催場所 防府市公会堂 第5号室
決議事項 定款の変更について

(3) 第3回評議員会

開催年月日 平成28年2月19日(金)
開催場所 防府市公会堂 第5号室
決議事項 平成28年度事業計画書及び収支予算書等について

事業報告の附属明細書

平成27年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成28年5月

公益財団法人 防府市文化振興財団